

麻生区区民会議 第9回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

1 開催日時：平成29年10月10日（火）午後3時～午後5時

2 開催場所：麻生区役所 第4会議室

3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
（欠席）橋本周委員

[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、長瀬

[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 調査・審議課題の検討について

(1) これまでの審議内容の振り返り

- ・『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。

(2) 調査審議課題の検討

1) 子育てフェスタで出された意見について

- ・子育てフェスタで行ったヒアリング調査の振り返りを行った。
- ・魅力の発信にあたっては、情報の信頼度が重要な要素であることが確認された。

【主な意見】

- ・発信方法について個別配布の媒体の需要が多かったのは、子どもが小さいため、家庭まで入ってくるメディアの方が目に入りやすいことを反映していると思う。
- ・発信方法について市や区のホームページ、アプリの需要が少なかったのは、その存在自体が知られていないせいであると思う。ホームページやアプリの認知度が高まれば、有効な媒体となり得るのではないか。
- ・発信方法について市政だより等の需要が多かったのは、行政が発行しているという安心感があるのではないかと思う。幼稚園・保育園・学校で配布されるチラシも同様であると思う。
- ・情報としての信頼度（確実性・安心性・安全性）はやはり重要であると思う。

2) 発信する魅力について

- ・コンサルより前回の意見を反映したまちのイメージ（案）に関する説明を行った。
- ・委員の意見を基に、さらにイメージ（案）をブラッシュアップしていくこととした。

【主な意見】

- ・「昔ながらの」という表現は魅力的な言葉だが、若い人にはわかりづらい部分があるのではないかと。また、「昔ながら」を目指さずやってきた人たちもいるため、「昔ながらの」をあえて付けなくても良いのではないかと。
- ・当部会が対象としている若い年代の方にとっては、そもそも「昔」がどのようなようだったかわからないのではないかと。
- ・昔ながらの風景はそんなに残っていないというのが率直なところである。

3) 魅力の発信方法について

【今後の方向性】

- ・子育てフェスタでのヒアリング調査結果を踏まえ、魅力の発信を冊子で行うという内容の提言としていくこととするとともに、今後、冊子の内容、ひな形作成の有無、発行主体（発行するシステム）、発行の時期、発信場所、既存の資料との立ち位置の確認、金銭的成本や労力を踏まえた実現性等について検討することとした。
- ・現時点では、3～4章仕立ての冊子（①麻生区の成り立ち、②麻生区の魅力、③魅力に関わる取組、④魅力に関係する団体）とし、継続して作成すべきという意見が出された。

【主な意見】

- ・各イベントの具体的な紹介は区民会議提言の発行物に盛り込む必要はなく、そこは各団体に任せれば良いと思う。
- ・団体の目的や連絡先、行事の情報提供までは行っても、個々のイベントについては団体の入り口を示すのであるから、そちらに問い合わせてもらえば良いのではないかと。
- ・イベント名まで載せないと検索できないのではないかと。
- ・配布時期は大事であると思う。4～7月あたりに配布されるものは割と目が通されるのではないかと。
- ・小学校一年生、中学校一年生に配られる資料は親も目を通すと思う。
- ・民営の幼稚園は特にそうであるが、幼稚園は経営者の意向によっては配布が難しいイメージがある。
- ・冊子を作るのであれば、掲載団体の選別も問題になる。団体の信頼度も重要になると思う。
- ・やろうとしていることと、やまゆりの区民記者等の活動の差別化などについて検討する必要があるのではないかと。
- ・観光協会でも観光ガイドマップを作成しているが、そこと重なる部分もある。
- ・既存の資料は参考にさせていただいて、その中から区民会議の目的に合致した子育て世代向けの内容を抽出していけば良いのではないかと。
- ・麻生区が多摩区から分かれてできたという成り立ち、歴史についても紹介した方が良いのではないかと。
- ・魅力の冊子を作るにしても、区民会議12年間の意義も踏まえ、配布物を置ける場所を駅なり役所なりに作れると良いのではないかと。
- ・提言として、原稿まで全て作るのか、内容や項目の概要のみを示すのか、イメージを固める必要が

ある。本年度区民会議で冊子そのものを作成するのは無理だと思う。

- ・ひな形まで作るとしても、最終的な作成主体は検討する必要があると思う。
- ・継続的に発行されるよう、ボリューム①、②と続くような提言としてはどうか。

2. その他

- ・次回は11月14日（火）に開催することを決定した。

以 上